

【専門教育関連科目/環境の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護と関係法規	NSF32_003	必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
森山 幹夫	教員控室	kango	非常勤であるために質問は授業前後、メールやレポートでも受け付ける。		
授業の目的・概要	法は君と社会を守るものである。看護職として必要な看護関係法令の基本を学ぶ。法の根底にある患者と看護職の権利・義務、生命倫理、看護と医療提供体制などを学修の上、自分と患者を守る看護と法の関係を体系的に理解する。最初に法とは何か、憲法や刑法、民法などの基盤法の根底を理解し、看護師免許が法律で規定されている理由、厚生労働施策全体、保健師助産師看護師法、看護師等人材確保法、医療法と看護の周辺にある衛生法、社会保険法、福祉法、労働関係諸法などに順次広げていく。看護や医療を支える要素であるヒト・モノ・カネに分けて解析する切り口で、看護に法がどのように関わっているか、何故このような法律があるのか、その問題点や課題は何かまで深めて学修する。教室で講義を行う。質疑応答をしながら、適宜、課題を提出する。教科書、スライド、資料等を用いながら日本の看護に関係する法制度の現状や問題を看護と関係づけて把握する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート				
学習上の助言	学問の基本は何故である。法律の条文を覚えることに意味はない。社会を背景に法律が存在し、社会の仕組みと看護を絡めて理解したい。基本は一日2コマの講義を7日行うために、事前の予習が必須で、課題に答えながら理解度を確認する。授業後も国家試験のために継続的復習が重要である。教科書を縦軸に資料等を横軸に授業を織りなしていくので、それぞれの予習をするように。また、関係する科目の先生方の資料を再度復習しておくこと。				
教科書	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度[4] 看護関係法令(55版) /著:森山幹夫 /医学書院 /2023 ※大幅に改訂をしているので昨年の版は使わないこと。				
参考書	・六法全書 /有斐閣 /2023 ・医療六法 /中央法規出版 /2023				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	法や国家、社会の存在理由、意味、看護職との関係を理解し、説明できる。		HSU(4),NS(1)		
②	患者中心の医療理念を踏まえ、看護職の役割を理解し、説明できる。		HSU(1),NS(2)		
③	保健師助産師看護師法と看護師等人材確保法の存在理由と内容を理解し、説明できる。		HSU(4),NS(3)		
④	看護の周辺にある各資格と職種の業務負担連携の法制度構造を理解し、説明できる。		HSU(3),NS(5)		
⑤	患者や国民に対する看護職としての責任のあり方を理解し、説明できる。		HSU(1),NS(4)		
⑥	看護職を支える諸法令と制度について理解し、説明できる。		HSU(2),NS(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1・2	生活者の視点からみた少子高齢人口減少社会と社会保障と看護の関係。それを支える法律の基本的な考え方を分析的に理解する。	講義	教科書のはしがき部分と配布資料により、社会保障の基本と看護の位置づけを理解する。	4	
3・4	関係法令の基本である法とは何か、倫理とはどのように違うのかについて看護と関係づけて歴史を含めて理解する。	講義	教科書の第1章を学修。法と制度を学ぶ際の留意点。看護などの現状と歴史を確認する。	4	
5・6・7	保健師助産師看護師法と看護師等人材確保法の意義、理念、構造と社会保障制度との関係を理解し、併せ看護の社会における位置を把握する。	講義	第2章の看護の法制度体系と社会保障における看護の位置づけを資料等を含め理解する。	6	
8・9	医療の基本と医療提供体制を規定する医療法を始め医療を支える看護に連携する各法を理解する。医療の制度的体系と現状を把握する。	講義	第3章から第6章まで医療を支えるヒトとモノとカネにつき学修し、医療の全体像を把握する。	4	
10・11	高齢者と看護と医療に関係する社会福祉や介護保険などについて理解する。	講義	第6章後半と第7章について、看護活動の場を考え理解する。	4	
12・13	生活保護や障害者・児童など各福祉とあなたを守る労働法制度や社会基盤整備と環境分野について理解する。	講義	第7章から第9章までの看護関係部分を理解する。	4	

【専門教育関連科目/環境の理解】

14・15	看護の基本と関係法令の根底を流れる利用者の安全を守る仕組みを考え、問題点を理解し看護の将来を考える。	講義	第2章と資料の関係部分を理解し看護師が社会と医療を支えることを理解する。			4	
試	定期試験達成度評価・評価のポイント参照。						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	30	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	15	10	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力	5	10	0	0	0	15	
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	基本的要素の理解力を記述式と択一式(O×)の併用により評価する。				模範答案を掲示するので自己採点をする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①	✓	課題及び学修内容を提示するので自己学修すること。				レポート内容について解説する書類を提示し、講義中に求められている内容を解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	毎回の課題提出内容と出席・参加度・授業態度を確認して評価する。				授業や課題提出により参加の状況や内容により評価する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員							
教員の実務経歴	東京医科大学教授、国立看護大学校教授、九州大学大学院や千葉大学の非常勤講師など20年近い教員経験がある。法学部出身であり看護師免許は持っていない。						
実践的授業の内容	あなたは看護を学んでいるのではなく看護学を学修しているものである。授業は、単に事実や事項、知識の暗記を求めているのではない。看護に必要な力である何故このような制度になっているのか、何故この法律があるのかを考え、実践に応用できる手法を身に付けてほしい。社会に氾濫する膨大な資料と情報の中から必要な内容を抽出する力を獲得する学修方法を探る。広く周りを見渡ししながら、看護の素晴らしさと活躍の広さを理解してほしい。すべての人が人生の最期に佳き看護に出会えるように願う。						
その他	コロナ禍で授業の形態が大きく変わり自己学修の重要性が高まった。あなたの努力を応援している。いかに事態が変わろうとも、大学とは学問の府であり、看護学を究める中で真・善・美が見えてくる。看護学を究める努力をすることにより、あなたの人生が拓かれ充実したものになるように希望する。なお、授業中の睡魔は敵だ！ただし、夜の良質な睡眠が一番の味方であるから、看護職に就こうとする者は特に自分の健康と体調に留意してほしい。新型コロナが猖獗を極める今は、国民から看護への期待が一番高まったときである。あなたが大学を卒業して社会に出て思いっきり羽ばたくことを期待する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、講義形式がオンラインになるなど、シラバスの変更があり得るので注意すること。						